

政策	5章 政策4	産業の魅力に磨きをかける	
主管課	商工水産課	関係課	農政課

1. 政策の方針・指標・関係者の意見等

(1) 政策の対象と方針

対象	政策の方針
・農産物、水産物 ・地域資源	本市の持つ多様な資源をいかし、生産物やサービスの付加価値を高めるため、1.5次産業化や1次産業から2次産業、3次産業まで多様な業種が連携して付加価値を高める6次産業化の推進に引き続き取り組むとともに、異業種間のネットワークや産官学連携を積極的に進めます。 観光産業はそれ自身が糸満市の魅力を活用し、ブランドを向上させるものです。そのため、観光産業を推進し、地場産品や個性ある文化をいかした「糸満ブランド」を磨き、その魅力を積極的に伝え、地域の産業を誇れるものとしします。

(2) 政策の基礎的データとなる指標

基礎的指標			単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	拠点産地品目名		品	見込値					11	11	11	11
				実績値	-	-	-	10	10	10	10	
②				見込値								
				実績値								
③				見込値								
				実績値								

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト							前期基本計画期間						
指標区分		指標	単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (前期目標値)	
A	総合計画	地場産品商品開発数	品/年	目標値					2	3	4	5	
				見込値					2	3	4	0	
				実績値	3	0	0	2	1	0	0		
B	総合計画	産学官連携会議数	回/年	目標値					4	6	8	11	
				見込値					4	6	8	11	
				実績値	4	3	2	0	0	0	0		
C	総合計画	6次化商品開発数（累計）	品	目標値					4	5	6	7	
				見込値					12	13	11	11	
				実績値	2	4	9	11	11	11	11		
D	参考	ふるさと納税における特産品の寄附額	千円	目標値					336,000	378,000	394,800	420,000	
				見込値					336,000	378,000	650,000	420,000	
				実績値	-	-	288,800	373,960	367,286	516,734			
E				目標値									
				見込値									
				実績値									
F				目標値									
				見込値									
				実績値									
G				目標値									
				見込値									
				実績値									
H				目標値									
				見込値									
				実績値									
施策コスト		事業費		千円				6,108	28,269	27,836	0	0	
		国・県支出金		千円				0	18,397	18,000			
		地方債		千円				0	0	0			
		その他		千円				976	4,600	0			
		一般財源		千円				5,132	5,272	9,836			
施策に関係する事務事業の合計額													

※令和4年度以前の数値については、把握できるもののみ入力。

(4) 総合計画等の指標の設定理由及び目標値・見込値の考え方

A	総合計画	地場産品商品開発数
	設定理由	1.5次産業、6次産業化の推進の観点から、商工会・漁協等による地場産品商品開発数を把握する。（商工会、漁協等への聞き取りなど）
	目標値	平成30年度から令和3年度の実績値を踏まえ、令和5年度から次第に増加し、令和7年度は年間5件の地場産品商品開発数を目指す。
	見込値	平成30年度から令和3年度の実績値を踏まえ、令和5年度から次第に増加し、令和7年度は年間5件の地場産品商品開発数を見込む。
B	総合計画	産学官連携会議数
	設定理由	産学官連携の観点から、糸満市6次産業化・地産地消推進戦略会議の開催回数を把握する。（農政課・商工水産課資料）
	目標値	（農政課）糸満市6次産産業化・地産地消推進戦略会議等（年2～9回）、（商工水産課）水産振興に係る産学官による連絡会議（年2回）の開催を目指す。
	見込値	（農政課）糸満市6次産業化・地産地消推進戦略会議等（年2～9回）、（商工水産課）官民連携による市水産業振興に係る連絡会議（年2回）の開催を見込む。
C	総合計画	6次化商品開発数（累計）
	設定理由	産学官連携による6次産業化に向けて、開発された商品数を把握する。（農政課・商工水産課資料）
	目標値	平成30年度実績の2品に加え、5年で5品（10年で10品）の開発を目指す。
	見込値	（農政課）令和3年度までの実績値11件に、年一品の商品開発を見込む。（令和7年度累計15件）（商工水産課）水産関係団体との連携により、未利用部位の商品開発を目指す。
D	参考	ふるさと納税における特産品の寄附額
	設定理由	糸満ブランドの付加価値を推察する一側面として、ふるさと納税における特産品金額を把握する。（行政経営課資料）
	目標値	ふるさと納税返礼品分の総額から、使用原材料及び製造を市外で実施した製品分を差し引いた額を目標値とする。
	見込値	ふるさと納税返礼品分の総額から、使用原材料及び製造を市外で実施した製品分を差し引いた額を見込値とする。
E		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
F		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
G		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
H		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	

(5) 環境変化（個別計画策定状況、近年・今後の外部環境の変化等）

・水産業の新たな事業として牡蠣養殖が着目され、事業化に向けた議論がなされたが、県内に牡蠣養殖の有識者が不在のため進展がない状況にある。

(6) 関係者の意見・要望

・地場産品（6次化商品を含む）の販路を拡大するための支援が望まれている。

2. 政策の実績評価

(1) 令和7年度（前期目標値）の指標の達成見込み

指標A	総合計画	【地場産品商品開発数】					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難					
理由	商品開発を行う事業者においては、近年の人手不足等もあって新たな商品開発が困難となっていることが想定され、もって目標達成が困難と見込む。						
指標B	総合計画	【産学官連携会議数】					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難					
理由	水産業の新たな事業として牡蠣養殖が着目されており、事業化に向けた議論がなされたが、県内に有識者が不在のため進展がない状況にある。						
指標C	総合計画	【6次化商品開発数（累計）】					
<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難					
理由	すでに令和7年度の目標値を達成しているものの、商品開発を行う事業者においては、近年の人手不足等もあって商品開発が困難となっていることが想定され、今後の増加が見込めない。						
指標D	参考	【ふるさと納税における特産品の寄附額】					
<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難					
理由	新規返礼品の開発、既存返礼品のブラッシュアップ（サムネイルの見せ方の強化）を図り、寄附額の増加につながった。						
指標E		【					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難					
理由							
指標F		【					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難					
理由							
指標G		【					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難					
理由							
指標H		【					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難					
理由							
指標の数	4指標	うち現在の計画、取り組みにより目標達成見込み	2指標 (50.0%)	うち新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	0指標 (0.0%)	うち現在の想定では目標達成が困難	2指標 (50.0%)

(2) 前年度比較（令和4年度の市の取り組み・成果との比較）

評価	成果がどちらかと言えば低下した	【5段階評価】 かなり向上～どちらかと言えば向上～ほとんど変わらない～どちらかと言えば低下～かなり低下
理由	設定している指標の結果が向上しないものが多いなど、どちらかと言えば低下していると考える。	

(3) 他自治体との比較（令和5年度の実績の県内他市等との状況比較）

評価	他自治体と比べてどちらかと言えば低い（悪い）水準である	【5段階評価】 高い水準～どちらかと言えば高い水準～ほぼ同水準～どちらかと言えば低い水準～低い水準	比較対象	県内11市
理由	他市は、商品開発に係る事業を展開し事業者支援（那覇市：新商品開発支援事業、沖縄市：新商品開発等支援事業、名護市：地域資源活用支援事業等）を行っているなど、どちらかと言えば低い水準にあると考える。			

3. 政策を推進する上での現状と課題及び今後の取組方針

(1) 令和6年度の現状（令和5年度の実績を踏まえた政策（施策の展開）の取り組み）

・財政状況が厳しい中、予算が伴う事業を推進することが困難。  
・事業者においても、物価高騰や人材不足等の経営環境の課題を抱え、新たな商品開発が困難になっていると想定される。

(2) 令和6年度の課題（政策（施策の展開）を推進する上での課題）

・財政状況が厳しい中、予算が伴う事業を推進することが困難となっており、事業者間の仲介役として話を取りまとめるな等の工夫を凝らした事業展開が必要となる。

(3) 令和7年度取組方針（令和6年度の現状・課題を踏まえ、令和7年度に優先的に取り組む予定のもの）

・本市の拠点産地品目を原材料として、規格外品の活用等、農水商工連携の仲介役として地場産品開発を促進する。